

質問順位は、議会の申し合わせにより決定しています。なお、紙面は要約してありますので、詳しくは2月下旬に配置予定の会議録または市議会ホームページをご覧ください。

一般質問

登壇者と通告項目

竹内 美穂（政清会）

耐震補助（耐震補助制度等の見直しに当たりその検討状況）、ごみ減量対策（指定ごみ袋制度、乳幼児の紙おむつ対策の拡充）

中村 あや子（公明党）

子ども館（児童館の利用状況ほか）、胃がん検診（受診率、患者数の推移、ピロリ菌除去の助成）、防災対策、AEDの普及（設置状況ほか）

小椋 直樹（民進連合）

色覚検査の実施状況とカラーユニバーサルデザインの進捗状況、ネットリテラシー教育、AEDの設置状況、市内の道路陥没リスクほか

織田 真理（日本共産党野田市議団）

保育行政、土曜授業のアンケート、インフルエンザ予防接種助成、野田市スポーツ公園イベント広場の利用、街路樹の落ち葉掃除

長南 博邦（新社会党）

普遍的福祉とそれによる人口政策、離婚家庭支援、学童保育の過密対策、駅前修景地及び街路樹の管理マニュアル、選挙ポスター印刷費の適正化

船橋 繁雄（みん清クラブ）

野田市行政課題（一番の行政課題とその対処）、教育行政における少子化（各学校の児童生徒数の状況と推移、スクールバスの活用状況ほか）

小室 美枝子（市民ネットワーク）

国保の給付費削減に向けた取り組み、保育所持機児童問題、街路樹管理マニュアル、福島第一原発事故による市内への自主避難者の対応ほか

栗原 基起（新しい風）

サッカー場の整備（河川敷等の今後の整備状況ほか）、商業振興を通じた稼げるまちづくり（今後のビジョンや計画ほか）、ふるさと納税

谷口 早苗（無所属の会）

ふるさと納税推進とPR及びその他の寄附金、野田市ポイ捨て等禁止及び環境美化を推進する条例（重点区域の拡充ほか）、婚活支援の推進

小俣 文宣（政清会）

野田市駅西口広場の整備（景観デザイン、事業の見直しとタイムスケジュール）、地域包括ケアシステム（事業の進捗状況、介護保険新方式）

吉岡 美雪（公明党）

若者の政策形成過程への参画、官民協働事業の推進（企業と連携した「くらしの便利帳」の発行ほか）、観光活性化事業（取り組みと今後の展開）

滝本 恵一（民進連合）

市民課窓口業務（サービス拡大ほか）、難聴者の対応（難聴者用器具の環境整備ほか）、骨髄バンク事業推進、野田市スポーツ推進計画

星野 幸治（日本共産党野田市議団）

災害弱者の防災対策（今後の事業促進ほか）、市営住宅の住環境改善、水道行政（現状と中長期的見直しほか）、児童福祉に関連する事業

山口 克己（政清会）

道徳の教科化（教科化に向けた準備状況、目指す授業、評価）、キャリア教育の職場体験（現状と実施の成果、課題及び今後の方向性）

木名瀬 宣人（政清会）

子ども支援室、不登校・いじめ問題（不登校の現状と対応ほか）、8050問題（相談窓口、若者を含めた就労支援ほか）

耐震補助制度等の

見直しについて

竹内 美穂 議員

■質問 耐震改修促進計画

は、平成28年3月に32年度を目標年度とした耐震化率の目標が新たに設定されたが、補助制度について現在検討している具体的な考えは。また、生命や身体を守る上で有効な家具転倒防止金具等の取りつけの補助について見解を伺う。

□答弁 補助上限額を高額

にするには財政上の問題があることから、特に手厚く支援する必要がある高齢者世帯や障がい者世帯及び所得の低い世帯の補助上限額

を上げること検討している。単純に補助上限額を引き上げるのではなく、耐震改修補助制度をより利用しやすくし、住宅の耐震化を進めるために、東葛近隣市

の上限額を大幅に上回る額の引き上げや実施方法を決定し、来年度予算に反映させていきたい。また、家具の転倒防止対策については、L字型の金具や専用ベルトで固定することが効果的であり、各家庭が自助として対応していただくよう、ホームページや広報紙などで

啓発、周知してきた。近年地震が多発している状況では、障がい者や高齢者のみの世帯では、本人の取りつけが困難と想定されることから、これらの世帯を対象に取りつけ金具等の購入及び取りつけ費用の助成を行いたいと考え、来年度からの助成開始に向け準備を進めていきたい。

DIG、HUGを活用した訓練について

中村 あや子 議員

啓発、周知してきた。近年地震が多発している状況では、障がい者や高齢者のみの世帯では、本人の取りつけが困難と想定されることから、これらの世帯を対象に取りつけ金具等の購入及び取りつけ費用の助成を行いたいと考え、来年度からの助成開始に向け準備を進めていきたい。

■質問 災害はどんな状況で発生するかわからない。

各地域の避難誘導経路の安全性や危険な箇所を地図上に記して避難地図を作成する災害図上訓練のDIGや、避難所となる体育館などの機能的な使用を考える避難所運営ゲームHUGなど必要と考えるが、市の考えを伺う。

□答弁 現在自主防災組織

等の方々にはさまざまな防災訓練に取り組んでいただいている。自分たちが住んでいる地域の地図を実際に使用して行うDIGや避難所運営の一翼を担っていただく自主防災組織の方々が避難所運営の疑似体験をするHUGを地域の防災訓練



1月15日に開催された地域防災リーダー研修会

に取り入れていただくことで、今以上に地域の防災力が向上するものと考えている。平成29年1月15日に開催予定の地域防災リーダー研修会において、防災士会から講師を招き、自主防災組織の方々にDIGを体験していただく研修を予定している。

一般質問

グラウンド・ゴルフ場 認定コースの整備について

樹直 小椋 議員

■質問 グラウンド・ゴルフをプレーすることは、運動器症候群の予防や心の健康増進に効果的であるが、認定コースの整備計画について伺う。

□答弁 認定コースにするには、グラウンド・ゴルフの専用コースであり、日本グラウンド・ゴルフ協会の認定条件に適合しなければならぬ。現在市内にある専用コースは関宿総合公園にある1カ所のみで、そのほかは他競技との併用になつてゐる。関宿総合公園グ

ラウンド・ゴルフ場を認定コースにするにはさらなる拡張が必要となり、また、認定コースのメリットが競技者側にとつて余り顕著なものでない一方、デメリツトとして、近隣地域に認定コースがない現状から、市外利用者がこれまで以上に増加することが見込まれ、市民にとつてはこれまでと同様の利用が難しくなることも考えられる。また、利用者の増加に伴い駐車場の拡張も必要となることから慎重に検討していきたい。



関宿総合公園グラウンド・ゴルフ場

保育士の 賃金について

織田 真理 議員

■質問 公契約条例における保育士賃金の最低基準額引き上げは必要だと思ふが、保育士確保の観点からは、余り効果がないのではと事業者から声が上がっている。具体的な事例は。

□答弁 保育士不足の解消は、基本的には国が行うべきものであり、一自治体が解決できる問題ではないが、それでも行わなければならないものと考えている。事業者とのヒアリングでは、

保育士を志望するものの絶対数が不足している中で、就職先選択の理由として、正規職員は保育理念や研修制度等により、非常勤職員については自宅から近い保育所等を選ぶ傾向があり、



清水保育所

賃金が判断基準にはなっていないとの意見があつた。これに加えて非常勤職員については、扶養の範囲内で働きたいとの意向が多く、最低基準額を引き上げることににより労働時間が調整され、その結果人手が不足してしまうということを心配する声もあつた。

■質問 写真撮影もデジタル時代になり、紙焼き等の手間が省けたことなどで作成費が半額となったことやカラー印刷費も安価になった。選挙管理委員会は、ポスター作成費の実勢価格をどのように認識し調査しているか伺う。

□答弁 実勢価格の把握や市独自での調査について、

選挙ポスター印刷費の 適正化について

邦博 議員 南長

市の印刷物との比較は行つていない。ポスター作成費用などの公費負担について

目的に選挙公営制度を設け、市では平成5年12月議会で行なつた。国政選挙の制度に準じて市

は、お金のからない選挙の実現や候補者間の選挙運動の機会均等を図ることを

議会議員及び市長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を制定し、公費

負担が開始され、その後公職選挙法施行令の改正に合わせ現在に至つてゐる。ポスター作成単価などの価格算定に当たっては国において全国レベルとして市場調査を行い定められており、仮に市が独自に調査を行つてもその水準は変わるものではないと考えている。ポスターは有権者の候補者選

定において極めて有効な媒体であり、重要な位置づけと考へてゐることから、ポスター作成に関しては企画やデザイン、撮影、印刷方法など有権者に対して効果的に選挙運動が行われるべくさまざまな工夫が凝らされ、結果として候補者ごとに多種多様なものとなつてゐる。

一般質問

■質問 関宿中学校では男子生徒全員が東葛駅伝に向けて活動しているが、小中学校の各部活動及び東葛駅伝に向けた活動状況を伺う。

□答弁 小学校の運動部では、陸上競技部や駅伝部、男子サッカー部、女子ミニバスケットボール部があり、大会の時期に合わせ1人の児童が複数の種目を行って

いる。また、文化部では、吹奏楽部や合唱部があり、そのほか、自転車部がある

小中学校部活動等の活動状況について

雄員 繁議員
船橋 松橋

学校もある。中学校の運動部は、陸上競技部や男女バスケットボール部、サッカー

一部など19種類あり、文化部では、吹奏楽部や美術部、科学部などが設置されている。また、東葛駅伝大会には、市内全中学校が参加しており、多くの学校では陸

上競技部を中心に他の部活動からも選手を集めている。小中学校で連携して部活動を実施する中で、小学生は将来の中学校生活を思い描き、中学生はリーダーシップを発揮して意欲的に活動している。今後も各学校の現状を把握するとともに、学校及び地域のニーズに合った助言をしていきたい。



駅伝の練習風景（関宿中学校）

国保税未納及び資格証発行の削減対策について

子議員 枝美 小室

■質問 収納率を向上させることは、公平性の観点から見ても大変重要である。

国民健康保険税を1年以上滞納し、その後も相談等に応じない場合、資格証が交付される。資格証で病院を受診した場合、全額自己負担の10割負担になってしまい、これでは病院にかかりたくてもかかれぬという事態になりかねない。未納及び資格証発行数を削減する今後の取り組みは。

別担当制に変更するなど、これまでの徴収体制を一新し、徴収強化を図っていきたいと考えている。さらに、国保税は医療保険の保険料であるものを徴収の手段として税方式をとっているものであるが、保険料として徴収する自治体の例と比較して、税方式により徴収していることの優位性はない。また、給付と保険の対応という面からは、社会保険料であることのほうが理解しやすく、なじみやすいという厚生労働省の報告書も出

ふるさと納税の寄附額等の推移について

基起 栗原 議員

されており、近隣市では我孫子市を除き国民健康保険料として徴収され、いずれの自治体も税方式の野田市よりも徴収率が高い状況にある。こうした事情や徴収事務の効率化の観点から、平成30年度の国保広域化にあわせ税方式から国民健康保険料へ変更していきたいと考えている。

■質問 野田産の黒酢米を特典として平成26年10月に開始されたふるさと納税は、28年から日本酒「勝鹿」を加え2点の特典で展開してきたが、これまでの寄附額の推移と市外へ流出した市税の推移について伺う。

□答弁 寄附金は年度で管理していることから、寄附金による収入増と寄附金控除による市民税の減収は正確な比較とはならないが、特典つき寄附額の推移については、平成26年度は55万円、27年度は2千245万8千5円、28年度は、11月末現在の申し出ベースで、591万円となっている。市民税の減収額については、寄附金控除額は、26年度279万円、



ふるさと納税の記念品（黒酢米と勝鹿）

27年度717万円、28年度4千265万円となっている。また、寄附金控除は市民が市に寄附した際も受けることができ、28年度の市民税減収額には、市民から頂戴した寄附金に係る減収額も含まれていることから、市民税の減収額が全て市外に流出したということではない。

一般質問

婚活支援の

取り組みについて

早苗 議員
谷口

■質問 近年全国の各自治体では、婚活支援の事業が広がっており、人口減少に悩む自治体が定住促進のために進めていると言われている。野田市においてもすくに取り組む課題と考えるが、市長が考える出会いや婚活、結婚支援事業の具体的な取り組みについて伺う。

■答弁 出会いや婚活、結婚支援事業は、市人口ビジョンに掲げる合計特殊出生率の上昇につながり、人口減少対策の手段の一つとして有効であると考えており、

■質問 先進自治体では、市政などに若者の意見を反映させるさまざまな取り組みがされている。子供や若者育成支援の施策、世代間合意が必要な分野の審議会などでも若者の声を反映させる取り組みが求められているが、若者の政策形成過程への参画について市の見解を伺う。

■答弁 審議会等への若者の声の反映については、公募委員において20歳以上の

野田市駅西口の駅前広場の景観デザインは

小俣 文宣 議員

ている一般市民を対象とした婚活支援が必要であると考えている。実施体制や課題を整理するとともに、市として市内で既に行われている団体の取り組みを支援することができると、または市独自で施策を実施するか、可能な施策や体制について検討していきたいと考えている。

若者の政策形成過程への

参画について

雪美 議員
吉岡

での若者の応募はほとんどなく、市としても苦慮しているところである。また、

■質問 野田市駅西口の駅前広場は、まちの玄関、そして市の顔としてしっかりと考えられた景観デザインを願うが、市の見解を伺う。

■答弁 市総合計画では駅周辺を中心サービス核の一部として位置づけ、商業業務機能を強化し、歴史的、文化的資源の有効活用によりまちなかへ来訪者を誘導するような市の顔にふさわしい特色あるまちづくりを推進することとしている。

具体的には、建築物等の形態または意匠の制限として、建築外壁の色彩や屋外広告物のデザインを周辺環境と調和できるように権利者に説明をしながら案を作成しているところである。野田



野田市駅西口の駅前広場

時を原則として土曜日または日曜日の日中に設定するなど工夫したが、若者の応募は一人だけであり難しいという現実もある。若者の審議会等への参画について課題も多いが、引き続き市報やホームページ等で参加が図られるよう周知していきたい。また、現在、市の将来を担う若い人の意見を

積極的に市政に取り入れることが非常に重要と考え、まずは市の若手職員から意見を聞くこととし、定期的に意見交換会を実施しているところである。今後も若手職員との意見交換会を継続するとともに、職員以外の若者の意見を吸い上げる手法についても検討していきたいと考えている。

市駅西土地区画整理事業は、同時に施工している連続立体交差事業の整備と調整を図り、権利者の代表や学識経験者で構成する野田市駅西土地区画整理審議会の意見などを参考にしながら、野田市の文化と歴史を勘案し、市の顔としてのデザインを考え整備していきたい。

一般質問

■質問 埼玉県では、骨髓バンクのドナー移植に助成を行った市町村に対し、補助金を交付する制度を設けたことで全自治体が助成制度を立ち上げている。千葉県内においても我孫子市や船橋市、習志野市が助成を行っているっており、野田市も取り組むべきと考えるが見解を伺う。

骨髓バンクのドナーへの支援は

一議員 滝本 恵

■答弁 骨髓等を提供したドナーやドナーが勤務する事業所に対し助成金を交付している自治体があり、埼玉県では県が助成額の2分の1を助成するとして働き

かけ、平成27年1月までに全市町村が助成制度を創設している。このため、千葉県に対し取り組み状況を確認したところ、27年度に県内事業者に対して休暇制度

導入の働きかけはしているが、現時点では各市町村に対して埼玉県のように助成制度創設の働きかけを行う予定はないということである。また、ドナーへの金銭的な支援がドナー登録者の拡大や提供への推進にどの程度寄与するかも不明な状況であることから、市としてはこれまで骨髓バンク事

業に対しての取り組みはほとんど実施していない状況である。まずは、ドナー登録の拡大に向けた周知や献血並行型骨髓バンクドナー登録会を活用したドナー登録の推進を進めるとともに、県や他の自治体の動向を注視しながらドナー支援のあり方について検討していきたいと考えている。

市営住宅の

お風呂設備に関する考えは

治議員 幸野 星

■質問 市営住宅のお風呂の浴槽は、入居者本人が自己負担しているが、設備に関する市の考えを伺う。

■答弁 風呂がま等の設備がある住戸は、宮崎西団地に2戸、鶴奉団地に7戸となっており、いずれの団地も高齢者や障がい者に対応するため1階に配置している。もともと市営住宅の浴室は浴槽の必要性やグレイドなどを含め入居者の判断で設置できるよう、浴槽や風呂がまを据え置くことを前に設計されている。仮

に浴槽等を設置する場合は、設置費に1戸当たり20万円程度、故障時の修繕費や老朽化に伴う更新費が必要になるなど、さらなる維持費の増大につながることから、これまでどおり照明器具などを含め入居者負担による任意設置を継続していきたいと考えている。また、一定の条件で50万円を限度として県社会福祉協議会で運用している生活福祉資金貸付制度を利用することで一時的な入居費用の軽減が可能となっている。

道徳の教科化について

山口 克己 議員



市営鶴奉団地2号棟

■質問 道徳の教科化は深刻ないじめ問題に対応できなかったことが発端である。いじめは許されないということや道徳教育の中でしっかりと学べるようにする必要があると考えるが、教科化によってどのような授業を目指すのか当局の見解を伺う。

■答弁 道徳の授業は、昭和33年に告示された学習指導要領から週に1時間の授業を行っている。これまでの授業では善悪の判断、親切、思いやり、友情、信頼、生命のとうとさ等いじめに関わるものが多数扱われてきたが、今までの指導は道徳教材に出てくる登場人物の心情の理解に偏り、わか

り切ったことを言わせたり、書かせたりする傾向にあり、現実のいじめ問題に対応できていなかった。この反省から、今回の教科化により、道徳の質的転換によるいじめの防止に取り組むことになった。そこで、道徳的価値に関する事柄を問題解決的な学習や体験的な学習など指導方法を多様に工夫し、いじめに関する問題を自身自身のこととして多面的、多角的に考えさせる授業に変えていきたいと考えている。端的に言えば、児童生徒に対して「あなたならどうするか」ということを正面から問い、考え、議論する道徳へ転換していくということである。

一般質問／請願・陳情のご案内ほか

請願・陳情をされる方へ

要望等を市政に直接反映させるための方法として、どなたでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

提出された請願・陳情は郵送及び市外からの陳情を除き、市議会で慎重に審査（原則として本会議に上程し、委員会に付託）した後、最終的な結論（採択・不採択）を出して提出者に通知します。

採択した請願・陳情で、執行機関で処理することが適当なものについては、市長や関係機関に請願書・陳情書を送付し、その実現に努力するよう求めます。

□受付は随時行っていますが、3月定例会の場合、2月28日までに提出されたものを審査します。その後に提出されたものは、6月定例会で審査することになります。

□請願書・陳情書には趣旨と項目、提出年月日、住所、氏名（団体の場合は名称と代表者名）を記載したものを市議会議長宛てに提出してください。請願書には紹介議員の署名または、記名押印が必要となります。

提出に際しては、事前に議会事務局まで お問い合わせください。

【問合せ先】04-7125-1111（内線3314）

3月定例会のお知らせ 3月1日（水）に開会の予定です

日程は、2月23日（木）に開催予定の議会運営委員会で正式に決定します。

日 程	開議予定時刻	会議予定	主 な 会 議 内 容
3月 1日（水）	午前10時	本会議（開会）	会期の決定、議案上程、市政一般報告
8日（水）	午前10時	本会議	議案質疑、委員会付託
9日（木）	午前10時	本会議	一般質問
10日（金）			
13日（月）			
14日（火）	未 定	常任委員会	議案等の審査
15日（水）			
16日（木）	未 定	予算審査特別委員会	平成29年度各会計予算の審査
17日（金）			
21日（火）			
24日（金）	午前10時	本会議（閉会）	委員長報告、質疑、討論、採決

定例会の日程は市議会ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.gikai-nodacity.jp>

子ども支援室の現状について

木名瀬宣人 議員

■質問 子ども支援室が開設されてから1年が経過しチェックを行う時期に来ていると考えるが、利用者数、相談内容等を含めた現在の利用状況について伺う。

ラン「ゆりかごプラン」を作成し担当保健師が関係各課とともに支援している。

ラン「ゆりかごプラン」を的 な 悩 み 等 に 関 す る こ と、親子等で通う施設に関するこ

と等で合計678件の相談を受けており、心理職や子育て支援総合コーディネーター等がそれぞれの専門分野に応じ対応している。このうち発達のおくれや養育状況に問題があると判断されたもの等について、子供用ケアプラン「すこやかプラン」を31件作成し、関係機関と連携し継続して支援し

ており、療育が必要と判断されたケースについては、子ども支援室に設置した療育支援会議において生涯福祉サービス受給者証発行のための意見書を発行するなど早期療育につなげている。今後も引き続き、関係各課や庁外関係機関等と連携を図りながら支援に努めている。